

B.1 モニタリング実績 ※1 ※2

=選択/記入するセル

=必要な場合のみ記入するセル

=入力しないセル

モニタリング項目			モニタリング方法 ※3			計量器			備考
記号	定義	単位	概要	詳細	頻度	計量器の種類	精度	計量器の校正方法の説明	
Area _{Forest,i}	森林施業が実施された森林の面積 (0.9を乗じた値)	ha	実測 (コンパス測量)	レーザーコンパスにおいて測量する	初回検証申請時に1回	TRUPULSE360°	150/1	測量日毎に、測量前にキャリブレーションを行う	2019, 2013年時の間伐補助金申請に使用した図面を採用する
Area _{Forest,cu} t,i	主伐が実施された森林の面積	ha		なし	主伐実施時に1回				
ΔTrank _{SC,i}	(年間) 幹材積成長量	m ³ /ha	収穫予想表	(使用する収穫予想表の名称を記載すること) 群馬県民有林 人工林収穫予想表 人工林分材積表	検証申請時に1回	—	—	—	
Trank _{SC,cut} i	幹材積量	m ³ /ha	収穫予想表	(使用する収穫予想表の名称を記載すること) 群馬県民有林 人工林収穫予想表 人工林分材積表	検証申請時に1回	—	—	—	
WD _i	容積密度	t/m ³	デフォルト値	「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
BEF _i	拡大係数	—	デフォルト値	「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
CF	炭素比率 (炭素含有率)	—	デフォルト値	「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
R _{ratio,i}	地下部率	—	デフォルト値	「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」	検証申請時に最新のものを使用	—	—	—	
i	地位等による階層	—	実測	(地位特定のためのモニタリングプロットは、設定箇所を森林計画図・オルソ画像、空中写真等を用いて別添資料として示すこと)	初回検証申請時に1回	(胸高直径の測定に使用する計量器を記載) 林尺	—		
						(樹高の測定に使用する計量器を記載) TRUPULSE360°	—	測量日毎に、測量前にキャリブレーションを行う	

※1 プロジェクト登録申請日以降モニタリング方法に変更がない場合は、プロジェクト計画書と同じ内容を記載する。
 ※2 面積、胸高直径、樹高の実測結果の野帳等は、検証機関や制度管理者から要求があった場合に提出できるよう準備しておくこと。
 ※3 モニタリングエリアごとに異なるモニタリング方法を適用する場合には、行を追加した上でモニタリングエリアごとに記載すること。

B.2 吸収量の算定結果

=選択/記入するセル

=入力しないセル

B.2.1 本報告において認証を申請する期間

認証を申請する期間	2018年04月01日 ~ 2020年03月31日
-----------	---------------------------

- ※ 認証を申請する期間は、認証対象期間（プロジェクト登録申請日の含まれる年度の4月1日から、同日より8年を経過する日若しくは2031年3月31日のいずれか早い日までの間で設定）内であり、過去の検証済み期間、検証申請日以降の期間、他の類似制度への認証申請の対象期間の何れとも重複がないこと。

B.2.2 吸収量

$$C_{total} = C_{PJ} - C_{cut} - C_{BL}$$

記号	定義	単位
C_{total}	当該年度の吸収量	tCO2
C_{PJ}	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
C_{cut}	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
C_{BL}	当該年度のベースライン吸収量	tCO2

年度	当該年度の ベースライン 吸収量 C_{BL} (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後排出量 C_{cut} (tCO2)	当該年度の 吸収量 C_{total} (tCO2)
2013年度	0	0	0	0
2014年度	0	0	0	0
2015年度	0	0	0	0
2016年度	0	0	0	0
2017年度	0	0	0	0
2018年度	0	105.5	0	105
2019年度	0	95	0	95
2020年度	0	0	0	0
2021年度	0	0	0	0
2022年度	0	0	0	0
2023年度	0	0	0	0
2024年度	0	0	0	0
2025年度	0	0	0	0
2026年度	0	0	0	0
2027年度	0	0	0	0
2028年度	0	0	0	0
2029年度	0	0	0	0
2030年度	0	0	0	0
合計	0	200.5	0	200

- ※1 当該年度のプロジェクト実施後吸収量は、B.2.3に記載の当該年度のプロジェクト実施後吸収量を記載すること。
- ※2 当該年度のプロジェクト実施後排出量は、B.2.4に記載の当該年度のプロジェクト実施後排出量を記載すること。
- ※3 当該年度のベースライン吸収量は、B.2.5に記載のベースライン吸収量を記載すること。

B.2.3 プロジェクト実施後吸収量

$$C_{PJ} = C_{PJ,AG} + C_{PJ,BG}$$

記号	定義	単位
C_{PJ}	当該年度のプロジェクト実施後吸収量	tCO2
$C_{PJ,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の吸収量	tCO2
$C_{PJ,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の吸収量	tCO2

年度	一年当たり地上部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,AG}$ (tCO2)	一年当たり地下部バイオマス中の吸収量 $C_{PJ,BG}$ (tCO2)	一年当たりプロジェクト実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)	当該年度のモニタリング期間 (日)	当該年度のプロジェクト実施後吸収量 C_{PJ} (tCO2)
2013年度	105.3194154	27.21693904	132.5363544	0	0
2014年度	94.90158284	24.50520782	119.4067907	0	0
2015年度	94.90158284	24.50520782	119.4067907	0	0
2016年度	92.5036252	23.89402587	116.3976511	0	0
2017年度	90.82668316	23.47479036	114.3014735	0	0
2018年度	83.88298522	21.56936463	105.4523499	365	105.5
2019年度	75.59458816	19.41458674	95.0091749	366	95
2020年度	75.59458816	19.41458674	95.0091749	0	0
2021年度	73.5171866	18.88555668	92.40274328	0	0
2022年度	72.39553235	18.60514311	91.00067546	0	0
2023年度	0	0	0	0	0
2024年度	0	0	0	0	0
2025年度	0	0	0	0	0
2026年度	0	0	0	0	0
2027年度	0	0	0	0	0
2028年度	0	0	0	0	0
2029年度	0	0	0	0	0
2030年度	0	0	0	0	0
合計					200.5

※1 一年当たり地上部バイオマス中の吸収量及び一年当たり地下部バイオマス中の吸収量の詳細については、(別紙)吸収量算定シートに記載すること。

※2 モニタリング期間が年度の途中で終了する場合は、当該年度については「当該年度のプロジェクト実施後吸収量＝一年あたりプロジェクト実施後吸収量×モニタリング期間(日)÷365(日)」として算定すること。なお、当該年度が2015年度、2019年度、2023年度、2027年度の場合は「÷365(日)」に代えて「÷366(日)」で算定すること。

B.2.4 プロジェクト実施後排出量

$$C_{cut} = C_{cut,AG} + C_{cut,BG}$$

記号	定義	単位
C_{cut}	当該年度のプロジェクト実施後排出量	tCO2
$C_{cut,AG}$	当該年度の地上部バイオマス中の排出量	tCO2
$C_{cut,BG}$	当該年度の地下部バイオマス中の排出量	tCO2

年度	当該年度の 地上部バイオ マス中の排出 量 $C_{cut,AG}$ (tCO2)	当該年度の 地下部バイオ マス中の排出 量 $C_{cut,BG}$ (tCO2)	当該年度の プロジェクト 実施後排出量 C_{cut} (tCO2)
2013年度	0	0	0
2014年度	0	0	0
2015年度	0	0	0
2016年度	0	0	0
2017年度	0	0	0
2018年度	0	0	0
2019年度	0	0	0
2020年度	0	0	0
2021年度	0	0	0
2022年度	0	0	0
2023年度	0	0	0
2024年度	0	0	0
2025年度	0	0	0
2026年度	0	0	0
2027年度	0	0	0
2028年度	0	0	0
2029年度	0	0	0
2030年度	0	0	0
合計	0	0	0

※1 当該年度の地上部バイオマス中の排出量及び当該年度の地下部バイオマス中の排出量の詳細については、（別紙）排出量算定シート(FO-001)に記載すること。

B.2.5 ベースライン吸収量の考え方

(1) ベースライン吸収量の考え方

本プロジェクトにおけるベースライン吸収量は、1990年4月以降に森林施業（植栽、保育、間伐）を行った人工林の面積において、2013年4月以降適切な森林経営がなされなかった場合の吸収量とする。

(2) ベースライン吸収量の算定式

$$C_{BL} = 0$$

記号	定義	単位	想定値
C_{BL}	当該年度のベースライン吸収量	tCO ₂	0